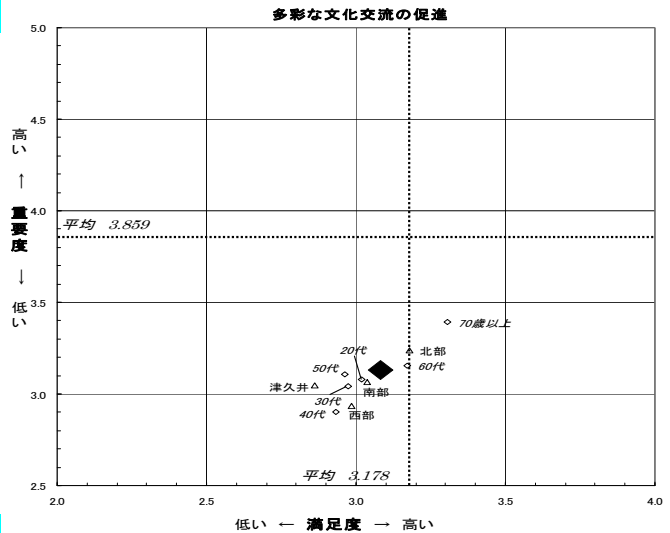


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.081で121施策の中で88番目。
 ○重要度は3.132で120番目である。
 ○改善要望度は-0.4452で119番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、西部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 ② 1	様々な立場での市民ニーズがあり、その多様性に応じた事業展開が求められている。
合計		5		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	様々な交流事業の取り組みの中で、さらに事業の認知度をアップし、多くの市民参加が求められる。また、行政主導の交流から民間レベルでの幅広い交流への移行が必要となる。
解決策	交流事業の周知に努めるとともに様々な方面の市民団体等との連携を図る。 (局内評価会議) 文化のほか、経済、教育、災害時相互支援などの多彩な都市間交流は重要な施策であるため、現状維持すべき事業である。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

施策の目的を明確化・具体化する必要がある ⇒新しい総合計画に反映する。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

・解決策は、一般論であり、施策の解決策を具体的に記入すること。 ・施策目的を明確化した上で、施策の一本化を検討する必要があるのではないか。(18120と)	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
文化国際課	銀河連邦サガミハラ共和国 事業	8,494	7,000	7,000	1	1	1.00	8,770	16,820
文化国際課	国際交流ラウンジ事業					2	1.00	19,588	27,638
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		8,494	7,000	7,000			2.00	28,358	44,458